

# 車中泊・避難所でのエコノミークラス症候群に対する災害時スクリーニング技術の開発

## 1. 研究の対象

熊本地震発災後、熊本県内の主要各基幹病院に入院した静脈血栓塞栓症患者、また、当院循環器内科でフォローしている静脈血栓塞栓症患者。

## 2. 研究目的・方法

熊本地震発症直後の被災者の行動パターンとエコノミークラス症候群の発生との関連の解明

- ・エコノミークラス症候群に対する医療資源の効果的な投与方法とその内容の確立熊本地震直後の医療施設の状況と活動実態の調査。
- ・エコノミークラス症候群の診療状況と広域搬送の必要性
- ・エコノミークラス症候群の予防のために投じられた医療資源と有効性の考察。
- ・ライフラインの破綻、交通網の遮断、余震持続状態での医療資源の投与方法と内容の検討。
- ・エコノミークラス症候群に対する医療支援チームの役割と招集手段の構築。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

車中泊や運動療法の有無、弾性ストッキング着用の有無や背景因子、服薬など。

## 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

国立研究開発法人国立循環器病研究センター 小川 久雄（研究開発代表者）

国立研究開発法人国立循環器病研究センター 安田 聡

国立研究開発法人国立循環器病研究センター

肺高血圧症先端医学研究部、心臓血管内科部門 肺循環科 大郷 剛

国立研究開発法人国立循環器病研究センター 肺循環科 辻 明宏

熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 掃本 誠治

熊本大学大学院生命科学研究部・心不全先進医療同研究講座 小島 淳

熊本市市民病院循環器内科・熊本大学循環器内科 坂本 憲治

熊本市市民病院 細川 浩

済生会熊本病院 循環器内科 永野 雅英

熊本市市民病院 佐藤 幸治

熊本市市民病院 阪本 徹郎

熊本市市民病院 福田 仁也

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科 永野 雅英

熊本市南区近見 5-3-1

電話：096-351-8000(代)

研究代表者：

国立研究開発法人国立循環器病研究センター 理事長 小川 久雄